

## 新公立病院改革プランについて（地域医療構想関係部分抜粋）

### あいち小児保健医療総合センター

#### 【地域医療構想を踏まえた役割】（P24、P70～P73）

##### <目指す方向性>

小児専門病院として、日本のトップレベルの小児保健医療を提供するとともに、小児3次救急医療を含め、小児医療中核拠点病院としての役割を果たす。

##### <小児への先進的専門的医療の提供>

- 高度な医療機器の整備・更新に努めるとともに、多くの小児専門医を擁する小児専門病院の特質を活かし、高度で先進的な小児医療を提供する。
- 医療の透明化、標準化に寄与する DPC(診断群分類包括制度)の対象病院への移行を図る。
- 退院支援や成人施設への移行支援の充実等、患者に対する相談支援体制を強化する。

##### <小児救命救急センターの機能強化>

- 重症患者相談システムの構築、救急車搬送システムの構築を推進し、小児3次救急ネットワーク体制の強化を図る。
- 外科系小児救急を充実するため、救急医や麻酔医の確保、手術室看護師の育成に努め、緊急手術体制の充実・強化を図る。
- 他の医療機関との役割分担による地域救急医療体制を確保するとともに、院内災害時マニュアルの改正や広域災害訓練の実施など、大規模災害時にも医療機能を発揮できる体制の整備に向けた取組を進める。

##### <周産期部門の体制強化による新生児医療の充実>

- 新生児治療部門を強化するために必要な、NICUの医師・看護師を十分確保し、機能の充実を図る。
- 県内の胎児異常分娩(母体ハイリスク分娩を除く)に、新生児治療の立場から対応する。
- 母体管理のために、母体治療が可能な地域基幹病院との連携を強化する。
- 患者搬送システムを新生児まで拡大し、他医療機関から出生直後の新生児の紹介患者受入を進めるとともに、近隣産科施設との連携を強化し、患者増を図っていく。

##### <愛知県医療療育総合センター（仮称）との医療機能の再編>

- 機能再編により、平成30年4月に心療科を愛知県医療療育総合センター(仮称)へ移管するとともに、移管後の病床を改修整備し救急用の後方ベッドを確保する。

##### <県の小児保健の中核的支援拠点としての機能充実>

- 児童虐待防止医療ネットワークの拠点病院として、配置された児童虐待専門コーディネーターを中心に、児童虐待防止体制の充実強化を図るとともに、医療機関相互に相談・連携できるネットワークの構築に取り組み、児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応を推進する。

## 【再編・ネットワーク化】（P83）

- 重症患者相談システムの構築、救急車搬送システムの構築を推進し、小児 3 次救急ネットワーク体制の強化を図る。
- 母体管理のために母体治療可能な地域基幹病院との連携を強化する。
- 愛知県医療療育総合センター(仮称)は慢性期医療を、あいち小児保健医療総合センターは急性期医療を担うというそれぞれの役割を明確にし、愛知県医療療育総合センター(仮称)との機能再編により、平成 30 年 4 月に心療科を移管する。
- 児童虐待防止医療ネットワークの拠点病院として、配置された児童虐待専門コーディネーターを中心に、児童虐待防止体制の充実強化を図るとともに、医療機関相互に相談・連携できるネットワークの構築に取り組み、児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応を推進する。

## 【数値目標について】（P77）

成果指標	単位	27 年度	28 年度見込	29 年度目標	30 年度目標	31 年度目標	32 年度目標
新外来患者数(初診料算定数)	人	8,229	8,300	8,300	8,400	8,500	8,600
1日当たり外来患者数	人	378.0	379.3	411.0	414.0	414.0	414.0
新入院患者数	人	6,411	6,707	7,393	7,450	7,480	7,500
病床利用率*	%	62.8	63.7	77.0	78.0	79.0	80.0
手術件数	件	1,976	2,110	2,508	2,550	2,650	2,700
救急患者数	人	3,472	6,614	6,300	6,200	6,100	6,000
緊急入院患者数	人	1,049	1,145	1,150	1,180	1,200	1,220
ICU緊急入院患者数	人	45	75	80	90	95	100
保健医療相談件数	件	5,241	5,250	5,250	5,250	5,250	5,250
ボランティア登録者数	人	42	99	70	70	70	70